

「2016 三重県聴覚障害者支援センターアンケート」集計表 2016/11/1

調査期間：2016年10月10日～31日

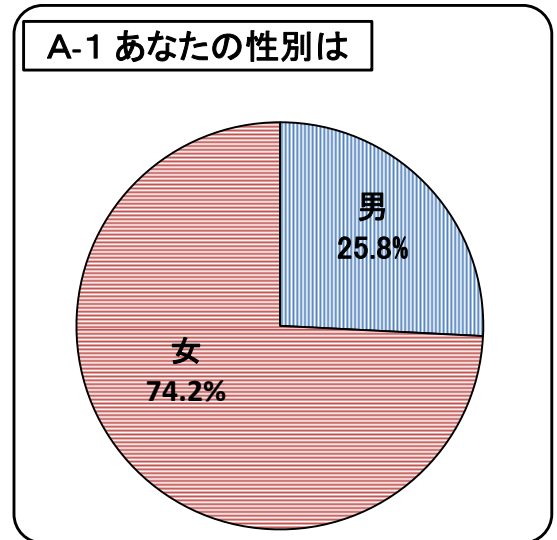
調査方法：センターまつり受付配布、センターHPにて周知

回答者数：66名

■ A-1 あなたの性別は

	回答数	構成比
(1) 男	17	25.8%
(2) 女	49	74.2%
無回答	0	0.0%
計	66	100.0%

女性が74%、男26%と、女性に偏りが見られた。



■ A-2 あなたのお住いの地域は

	回答数	構成比		回答数	構成比
(1) 桑名市	8	12.1%	(17) 鳥羽市	0	0.0%
(2) いなべ市	0	0.0%	(18) 志摩市	6	9.1%
(3) 木曽岬町	0	0.0%	(19) 玉城町	0	0.0%
(4) 東員町	0	0.0%	(20) 度会町	0	0.0%
(5) 四日市市	5	7.6%	(21) 大紀町	0	0.0%
(6) 菰野町	0	0.0%	(22) 南伊勢町	0	0.0%
(7) 朝日町	0	0.0%	(23) 伊賀市	8	12.1%
(8) 川越町	0	0.0%	(24) 名張市	1	1.5%
(9) 鈴鹿市	8	12.1%	(25) 尾鷲市	0	0.0%
(10) 亀山市	0	0.0%	(26) 紀北町	0	0.0%
(11) 津市	15	22.7%	(27) 熊野市	0	0.0%
(12) 松阪市	6	9.1%	(28) 御浜町	0	0.0%
(13) 多気町	0	0.0%	(29) 紀宝町	0	0.0%
(14) 明和町	3	4.5%	(30) 県外	0	0.0%
(15) 大台町	0	0.0%	無回答	2	3.0%
(16) 伊勢市	4	6.1%	計	66	100.0%

回答数上位：

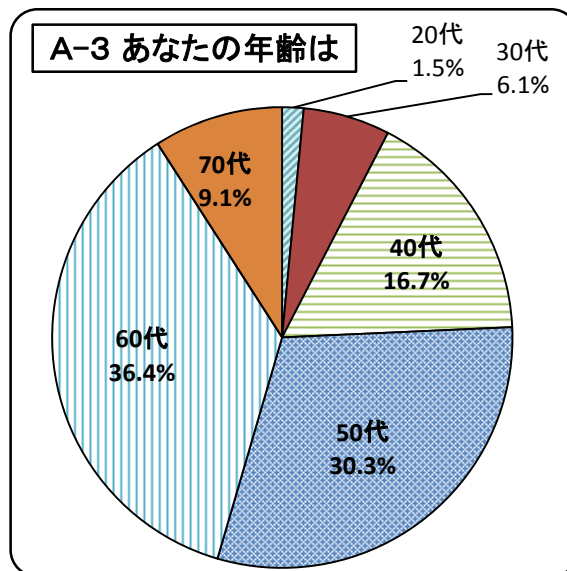
- ①津市 ②桑名市、鈴鹿市、伊賀市 ③松阪市、志摩市 ④四日市市 ⑤伊勢市  
⑥明和町 ⑦名張市

という結果になった。

特徴として感じたのは、地元聴覚障害者団体がある市町からの参加となっていることである。未参加の地域にどのように働きかけるかが、今後の課題である。

### ■ A-3 あなたの年齢は

	回答数	構成比
(1) 10代	0	0.0%
(2) 20代	1	1.5%
(3) 30代	4	6.1%
(4) 40代	11	16.7%
(5) 50代	20	30.3%
(6) 60代	24	36.4%
(7) 70代	6	9.1%
(8) 80代～	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	66	100.0%



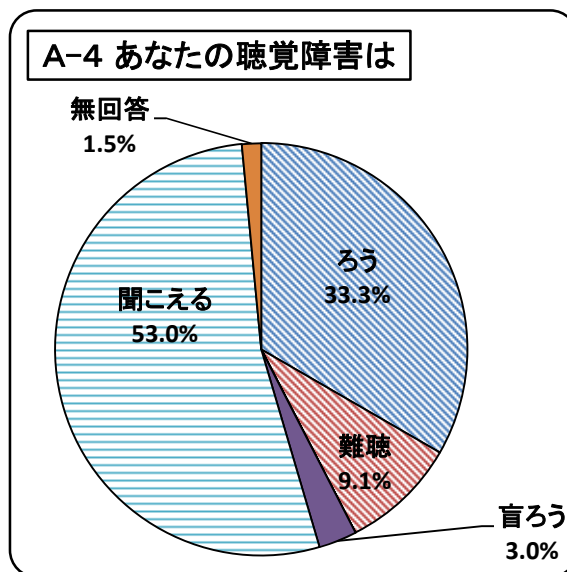
回答数上位：①60代 (36%) ②50代 (30%) ③40代 (17%) ④30代 (6%) ⑤20代 (2%) ⑥70代 (9%) という結果になった。

子育てを終え、ある程度時間に余裕ができた世代からの参加が多いと感じる。

しかし、10代20代が合わせて1名しかいないという結果を見ると、今後は若年層への呼びかけ方法を考えていかねばならない。

### ■ A-4 あなたの聴覚障害は

	回答数	構成比
(1) ろう	22	33.3%
(2) 難聴	6	9.1%
(3) 中途失聴	0	0.0%
(4) 盲ろう	2	3.0%
(5) 聞こえる	35	53.0%
無回答	1	1.5%
計	66	100.0%



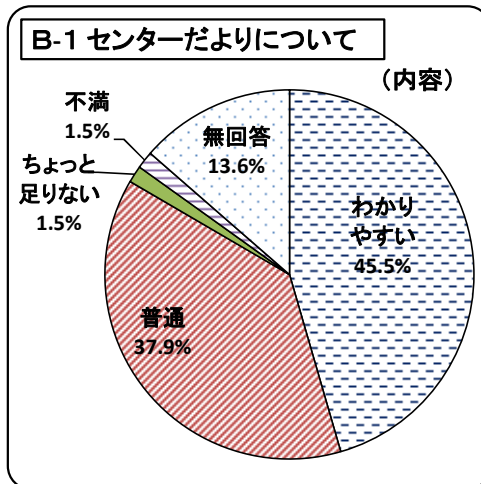
何らかの聴覚障害をもつ人 45%、聞こえる人 53%とほぼ半々の割合になった。

センターは聴覚障害者だけでなく、聞こえる人の利用があることを示している。

また、「聞こえる人」と回答された中には、「聞こえているが、視覚障害をもつ」と回答された方が1人いた。おそらく、センターまつりの『奇跡の人 マリーとマルグリット』映画上映は、視覚障害者にも楽しんでいただけるよう副音声をつけるという、バリアフリー上映だったので、視覚障害者の方も参加があったと思われる。

■ B-1 センターだよりについて（内容）

	回答数	構成比
(1) わかりやすい	30	45.5%
(2) 普通	25	37.9%
(3) ちょっと足りない	1	1.5%
(4) 不満	1	1.5%
無回答	9	13.6%
計	66	100.0%

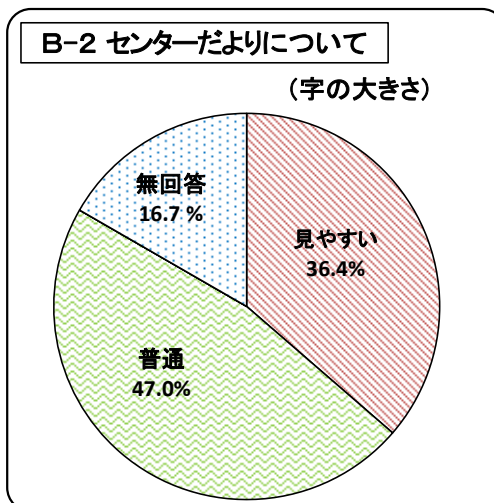


センター便りの内容は、83%の人にとっては問題ないようである。

「不満」と回答された人も1人いたが、何が不満なのかを記入していただけなかった。

■ B-2 センターだよりについて（字の大きさ）

	回答数	構成比
(1) 見やすい	24	36.4%
(2) 普通	31	47.0%
(3) ちょっと小さい	0	0.0%
(4) 点字版がほしい	0	0.0%
無回答	11	16.7%
計	66	100.0%



センター便りの字の大きさ（11ポイント・ゴシック体）は、読者にとっては問題ないと思われる。

■ B-3 センターだよりについて（どんな情報が欲しい）

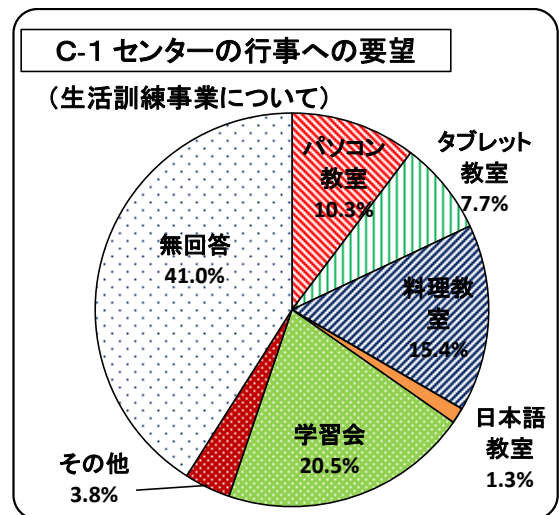
	回答数	構成比
(1) 記述あり	11	16.7%
無回答	55	83.3%
計	66	100.0%

【記述内容】

- 行事のお知らせ
- タイムリーな記事
- 学習会などの情報
- ループの受信がうまくいかないときの対処方法
- 新しい制度や聴覚関係の状況や流れがわかる情報
- 子どもがいる人も参加できるイベント
- どんな行事があったのか参加者はどう思ったのか、次は参加したくなるような情報
- ライブラリーDVDは何があるか、イベントは？
- 自分がどこに相談に行けばよいか、いろんな団体の対象者の連絡先が分かるようにしてほしい
- 字幕付き行事情報
- 県内の聴覚障害関係

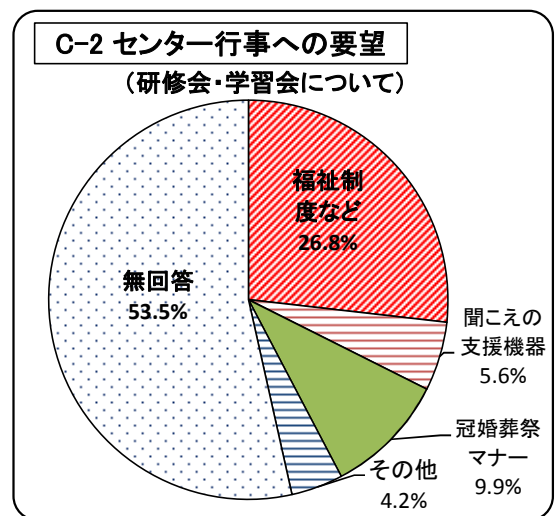
■ C-1 センターの行事への要望（生活訓練事業について）※複数回答可

	回答数	構成比
(1) パソコン教室	8	10.3%
(2) タブレット教室	6	7.7%
(3) 料理教室	12	15.4%
(4) 学習会	16	20.5%
(5) 日本語教室	1	1.3%
(6) その他	3	3.8%
無回答	32	41.0%
計	78	100.0%



■ C-2 センターの行事への要望（研修会・学習会について）

	回答数	構成比
(1) 福祉制度など	19	26.8%
(2) 聞こえの支援機器	4	5.6%
(3) 冠婚葬祭マナー	7	9.9%
(4) その他（記述）	3	4.2%
無回答	38	53.5%
計	71	100.0%



■ C-3 センターの行事への要望（どんな行事がほしい）

	回答数	構成比
(1) 記述あり	7	10.6%
無回答	59	89.4%
計	66	100.0%

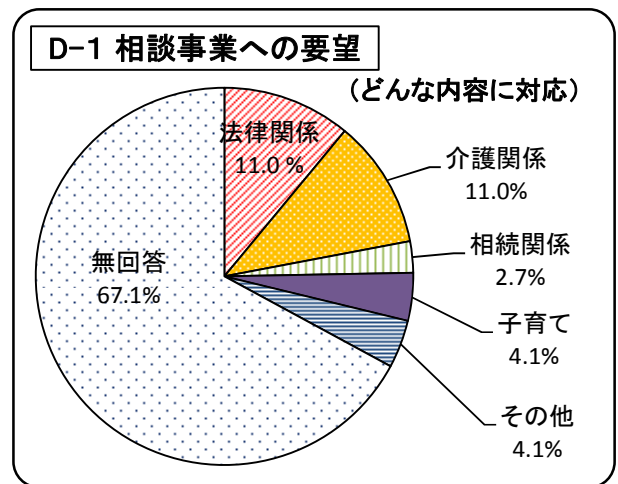
【記述内容】

- 若者の集い
- ふだん、聴覚障害者と会えないので交流会をしてほしい
- 介護関係を学べるようなもの
- いろんな障害を持った人が全国から集まれるようなイベント
- 補聴器修理会があればいいのですが。
- 聞こえる人を対象に「聞こえないこと」について学ぶ場
- 女性企画、高齢企画、青年企画
- 指点字教室や聞こえが落ちてきた人への教室があればいいなと思います

福祉制度や介護制度について学びたいという声が多いのは、家族や自分の高齢化による不安感をもつ人が多いということの表れかもしれない。また、「料理」「IT（パソコン・タブレット）」「冠婚葬祭」の要望が多い。聞こえる人はこれらのことは周囲のやり取りの中で学んだり、自然と身につけるが、聴覚障害者はコミュニケーションの壁があり、容易ではないということが表れている。

■ D-1 相談事業への要望（どんな内容に対応）

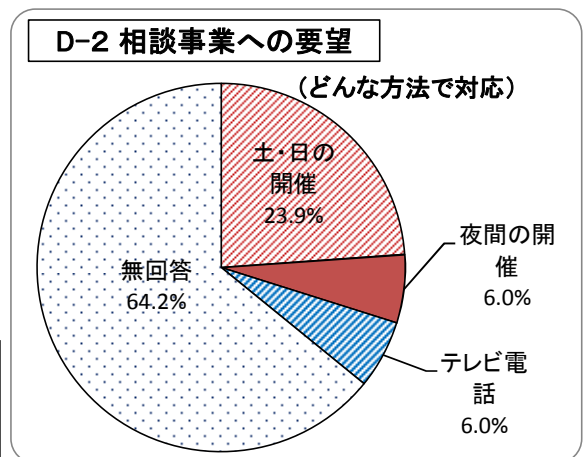
	回答数	構成比
(1) 法律関係	8	11.0%
(2) 介護関係	8	11.0%
(3) 相続関係	2	2.7%
(4) 子育て	3	4.1%
(5) その他（記述）	3	4.1%
無回答	49	67.1%
計	73	100.0%



先述したが、家族や自分の高齢化による不安感が、「法律関係」「介護関係」に表れたのではないかと考えられる。また、一般にこれらの相談ができる場はあるが、聴覚障害者にとってはやはりコミュニケーションの壁が問題になる。

■ D-2 相談事業への要望（どんな方法で対応）

	回答数	構成比
(1) 土・日の開催	16	23.9%
(2) 夜間開催	4	6.0%
(3) テレビ電話	4	6.0%
無回答	43	64.2%
計	67	100.0%



土・日および昼間の開催希望が多い。平日になかなかセンターに行くことができず、相談の機会を失っている人が多いと考えられる。

■ D-3 相談事業への要望（どんな相談会が欲しい）

	回答数	構成比
(1) 記述あり	4	6.1%
無回答	62	93.9%
計	66	100.0%

【記述内容】

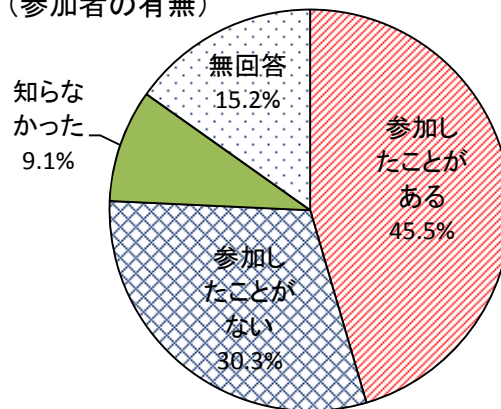
- 聞こえる人も相談できる相談会（地元での活動について）
  - 聞こえる専門職が聞こえない人への相談に対応できる場・体制
  - 職場環境の悩み（人間関係）を解決できるような場
  - 心の持ち方、悩みを乗り越える方法などを学びたい
- 職場環境や人間関係について社会的な問題となっており、「法律関係」「介護関係」「メンタルヘルス」など、それぞれの専門的な知識を持つ相談員による対応も必要になってくると考えられる。

### ■ E-1 センターまつりについて（参加の有無）

	回答数	構成比
(1) 参加したことがある	30	45.5%
(2) 参加したことがない	20	30.3%
(3) 知らなかった	6	9.1%
無回答	10	15.2%
計	66	100.0%

E-1 センターまつりについて

（参加者の有無）



今回は、センターまつりの周知に力を入れたこともあり、40%の人が初参加であった。今後、未参加の地域への周知を強化していきたい。

### ■ E-2 センターまつりについて（どんな内容を入れてほしいか）

	回答数	構成比
(1) 記述あり	10	15.2%
無回答	56	84.8%
計	66	100.0%

#### 【記述内容】

- ガラス細工、エコクラフトバッグ・かご作り・アロマワックス・ラテアート教室
- 聴導犬や介助犬などの話
- 体験コーナー（モザイクアートやハワイアンリボンレイなど）
- 今日のような障害についての啓発映画
- 今日の会場は狭かったので、にぎわいなくなる。次はもっと広いところで。
- バザーなどがほしい。できないのでしょうか？
- 趣味の展示（カメラ・模型など）
- 食べ物の模擬店
- みんなで楽しめるゲームなど

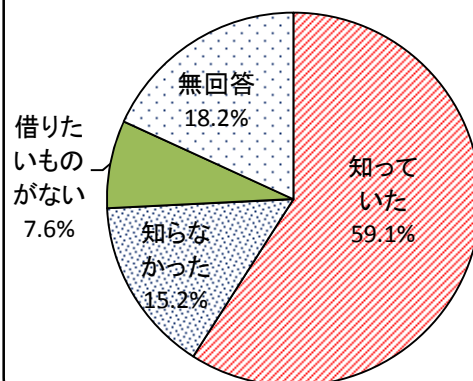
体験教室は、聴覚障害者や聞こえる人が交流しながらいろいろなものを作れる場となり、毎年好評である。それぞれ要望から、「聴覚障害についての啓発」「聴覚障害者と聞こえる人の交流」がセンターまつりに求められる役割であると感じる。

### ■ F-1 ライブラリー事業への要望（貸出があることを知っていたか）

	回答数	構成比
(1) 知っていた	39	59.1%
(2) 知らなかった	10	15.2%
(3) 借りたいものがない	5	7.6%
無回答	12	18.2%
計	66	100.0%

F-1 ライブラリーへの要望

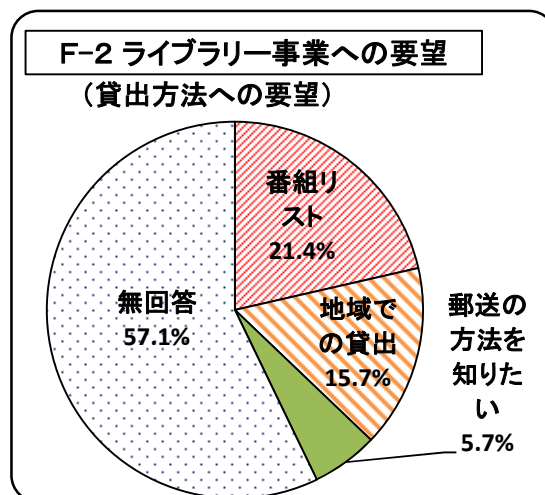
（貸出があることを知っていたか）



「知らなかった」との回答は、ほとんどが聞こえる人からであった。聞こえる人へ「啓発」「手話学習」に役立つものは貸出を行っていることを、周知していかなければならない。

■ F-2 ライブラリー事業への要望（貸出方法への要望）※複数回答可

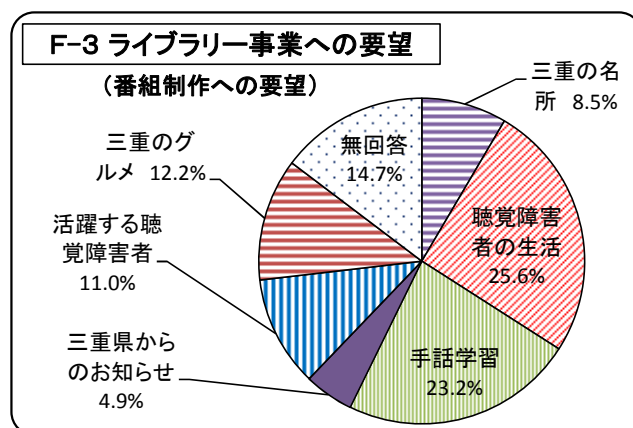
	回答数	構成比
(1) 番組リスト	15	21.4%
(2) 地域での貸出	11	15.7%
(3) 郵送の方法を知りたい	4	5.7%
無回答	40	57.1%
計	70	100.0%



「番組リストを知りたい」という声が多かった。センターホームページに番組リストを掲載しているが、周知が足りないのかもしれない。地域での貸出の希望が多いのは、センターが遠くて行けない、また平日はセンターになかなか行くことができないということだろう。また、「ビデオの貸出手続きが面倒」という声もあった。

■ F-3 ライブラリー事業への要望（番組制作への要望）※複数回答可

	回答数	構成比
(1) 三重の名所	7	8.5%
(2) 聴覚障害者の生活	21	25.6%
(3) 手話学習	19	23.2%
(4) 三重県からのお知らせ	4	4.9%
(5) 活躍する聴覚障害者	9	11.0%
(6) 三重県のグルメ	10	12.2%
(7) その他（記述）	0	0.0%
無回答	12	14.6%
計	82	100.0%



回答数上位：①聴覚障害者の生活（26%）②手話学習（23%）③三重県のグルメ（12%）④活躍する聴覚障害者（11%）⑤三重の名所（9%）という結果であった。

なお、①は聴覚障害者からの回答が多い。②は聞こえる人や難聴者からの回答が多かった。今後の番組制作に反映していきたいと思う。

## ■ G-1 ご意見・要望

	回答数	構成比
(1) 記述あり	13	19.7%
無回答	53	80.3%
計	66	100.0%

### 【記述内容】

- センターまつりの場所は去年のところ（社会福祉会館 3F）が良かった。
- 今日の映画は感動しました。
- 今日は展示スペースが狭かった。椅子やテーブルなど休憩できるところがほしい。  
飲み物やクッキーなど販売があればいいが。
- センター便りがあることを知らなかった。手話を習い始めて1年半。「ろう者の大切な言葉」を心に重く受け止め、手話を大切に習っていきたいです。
- 今日の映画は良かったです。
- 今日のような映画がライブラリーにいくつもあるなら、見たいです。
- センターまつりで挨拶の時間などに、手話の私語が多いと感じる。
- 本日の映画のナレーションの字幕が欲しかったです。
- ライブラリーに人気の映画があれば紹介してほしい。（過去のも含め）
- 映画の音声ガイドに字幕があればよかった。音声と字幕と文が違っていた。セリフをそのまま楽しむために、セリフのままかそれに近い文であればよかった。